

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立島根小学校

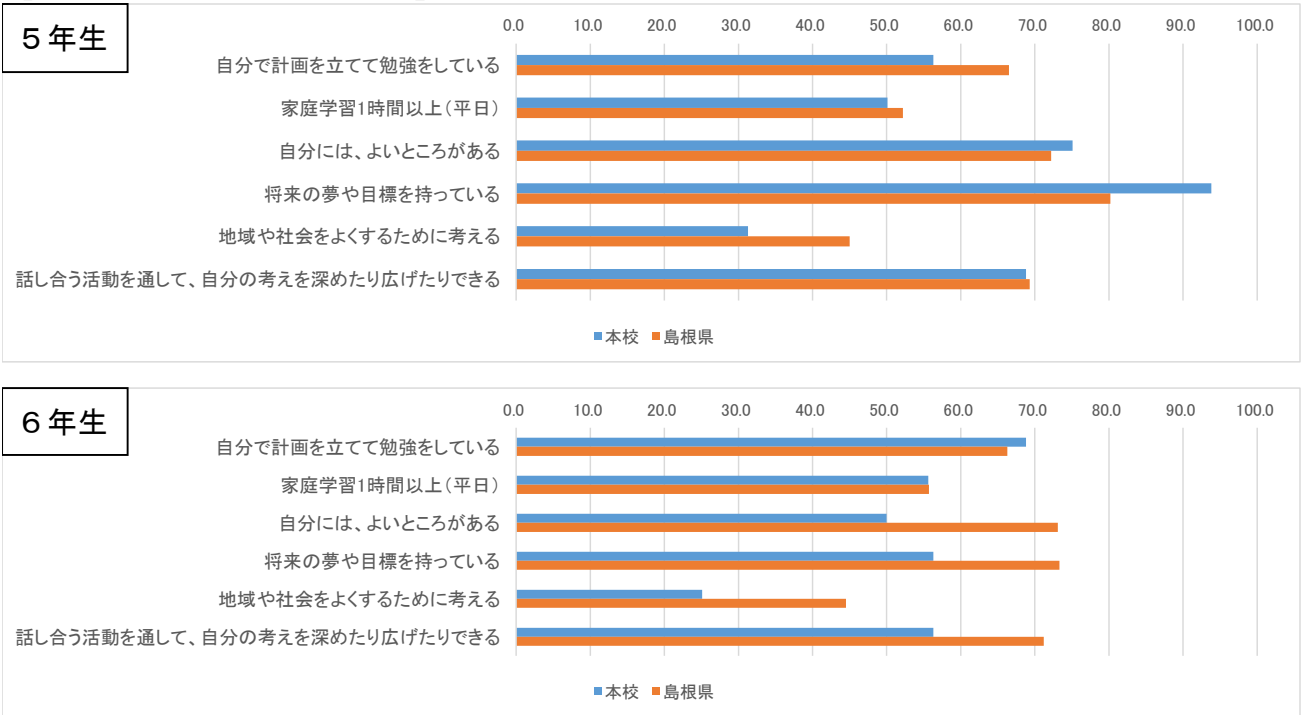
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○第5学年で配当されている漢字の読みは概ね身に付いている。 ●説明文を読み、情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理したり、簡単に要約したりすることに課題がある。 ●漢字の書き取りや文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使うことに課題がある。 ●全体的に問題文を読み取り、題意を理解して問題に取り組むことに課題があると考えられる。	○物語文を読み、登場人物の人物像を具体的に想像することができている。 ●漢字の読み書きに課題がある。 ●段落構成や長さなど題意に合わせて文章を書くことに課題がある。
算数	○分からない問題にも最後まで粘り強く取り組もうとする児童が多い。 ●最大公約数について理解し、それを活用して求める問題に課題がある。 ●整数÷整数の商を分数で表すことに課題がある。 ●純小数同士の乗法の計算において、適切に小数点をつけることに課題がある。	○分数のかけ算・わり算の基本的な計算が概ね身に付いている。 ●等しい比や比の値についての理解に課題がある。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○自分には良いところがあるという質問では7割、自分は他者（友だち、家の人、先生）から認められているという質問では8割の児童が肯定的な回答をしており、自己肯定感が高い。 ●自分で勉強の計画を立てて、勉強しているという質問で、県平均を下回っており、自分で計画を立てて学ぶ習慣が十分に身に付いていないことが課題である。	○先生への挨拶や家の人への「行ってきます」、「ただいま」の挨拶をしているという質問に、全員が肯定的な回答をしている。 ●自分のことが好き、自分には良いところがある、自分は他者から認められているなどの質問で肯定的な回答が県平均を大きく下回っており、自己肯定感の低い児童が多い。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

22

名

6年生

23

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)